

日本学術会議・東京大学ゲノム医科学研究機構

合同公開シンポ

ジウム

「ゲノム医療・精密医療の多層的・統合的推進」

日時 2019年6月1日(土) 13:00-18:00

場所 東京大学大学院理学系研究科・理学部 小柴ホール

東京都文京区本郷 7-3-1 理学部1号館中央棟

<https://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/hall/koshiba.html>

主催 日本学術会議

東京大学ゲノム医科学研究機構

PROGRAM

開会の挨拶				
	13:00-13:20		高木 利久 宮園 浩平 大坪 寛子	日本学術会議第二部会員、富山国際大学教授 東京大学理事・副学長 内閣官房 健康・医療戦略室次長、内閣審議官
第1部 趣旨説明				
	13:20-13:30		菅野 純夫	日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授
第2部 講演				
テーマ1 「日本人のエビデンスを得るためのゲノム解析規模の拡大」				
	13:30-14:20	司会	村上 善則	日本学術会議連携会員、東京大学教授、機構長
	(13:30-13:55)	ゲノム解析規模の拡大が疾患発症の原因究明を実現する	辻 省次	日本学術会議連携会員、東京大学特任教授、国際医療福祉大学ゲノム医学研究所長
	(13:55-14:20)	多因子疾患における大規模ゲノム解析の意義	徳永 勝士	日本学術会議連携会員、国立国際医療研究センタープロジェクト長
テーマ2 「多層的・統合的なゲノム医療・精密医療研究の推進」				
	14:20-15:55	司会	菅野 純夫	日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授
	(14:20-14:45)	ゲノム医療・医科学を支える基盤としてのバイオバンク	村上 善則	日本学術会議連携会員、東京大学教授、機構長
	(14:45-15:10)	ロングリード・シーケンシングによる疾患関連変異の検出	森下 真一	東京大学教授
休憩	15:10-15:30			
	(15:30-15:55)	日本人における28の新規2型糖尿病感受性領域の同定 -日本発次世代精密医療の基盤として	門脇 孝	日本学術会議連携会員、東京大学特任教授
テーマ3 「ゲノム医療・精密医療を推進する上での環境の整備」				
	15:55-17:05	司会	徳永 勝士	日本学術会議連携会員、国立国際医療研究センタープロジェクト長
	(15:55-16:20)	ゲノム医療に関わる医学研究における個人情報保護と倫理-EUおよびフランスを参考に-	達石 真公子	日本学術会議連携会員、法政大学教授
	(16:20-16:45)	ゲノム医療・精密医療推進に必要な遺伝教育・啓発	櫻井 晃洋	日本学術会議連携会員、札幌医科大学教授
	(16:45-17:05)	ゲノム医療の推進に関する立法 (ビデオ講演)	薬師寺 みちよ	参議院議員
休憩	17:05-17:10			
第3部 パネルディスカッション「これからのゲノム医療・精密医療」				
	17:10-17:55	司会	福嶋 義光 菅野 純夫	日本学術会議連携会員、信州大学特任教授 日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授
		パネリスト	仙波 秀志 宮田 満	文部科学省ライフサイエンス課 課長 榊田総研代表取締役、日経BP医療メディア局アドバイザー
			辻 省次 櫻井 晃洋 村上 善則	日本学術会議連携会員、東京大学特任教授、国際医療福祉大学ゲノム医学研究所長 日本学術会議連携会員、札幌医科大学教授 日本学術会議連携会員、東京大学教授、機構長
閉会の挨拶				
	17:55		福嶋 義光	日本学術会議連携会員、信州大学特任教授